

こども

子供のインターネットバイブル

あんない

案内いたします

ハンサムな、でも
おろかな王さま



ぶん

文: Edward Hughes

え

絵: Janie Forest

かいさくしゃ

改作者: Lyn Doerksen

ほんやくしゃ

翻訳者: Yuko Kajiki

監修者: Dan Ellrick

しゅっぱんしゃ

出版社: Bible for Children

www.M1914.org

BFC

PO Box 3

Winnipeg, MB R3C 2G1

Canada

©2009 Bible for Children, Inc.

許可: 他人に売らない限り このお話のコピー、又はプリントは、許可されています。



イスラエルでリーダーであったサムエルは、人々を裁く人として、みんなに正しいこと、正しくないことを教えていました。でもね、そのサムエルもだんだん年をとってきました。そこでサムエルは、

2人のむすこに、かれの代わりにさせることにしました。神さまに仕え、

イスラエルの人々を裁く人となるようにね。けれども、むすこたちは、あまりよくない人たちだったのです。かれらは、

お金が大好きなのです。かれらは、主に仕えないで、



ひとびと

わる

おこな

イスラエルの人々は、サムエルのむすこたちがとても悪く、ひどい行いばかり

かね

かんが

していたのでほんとうにたいへんです。お金をもうけることばかり考えている

さば

ただ

おこな

ひとびと

さば

かれらの裁きは、正しく行われませんでした。人々は、裁いてもらうたびに、

かね

はら

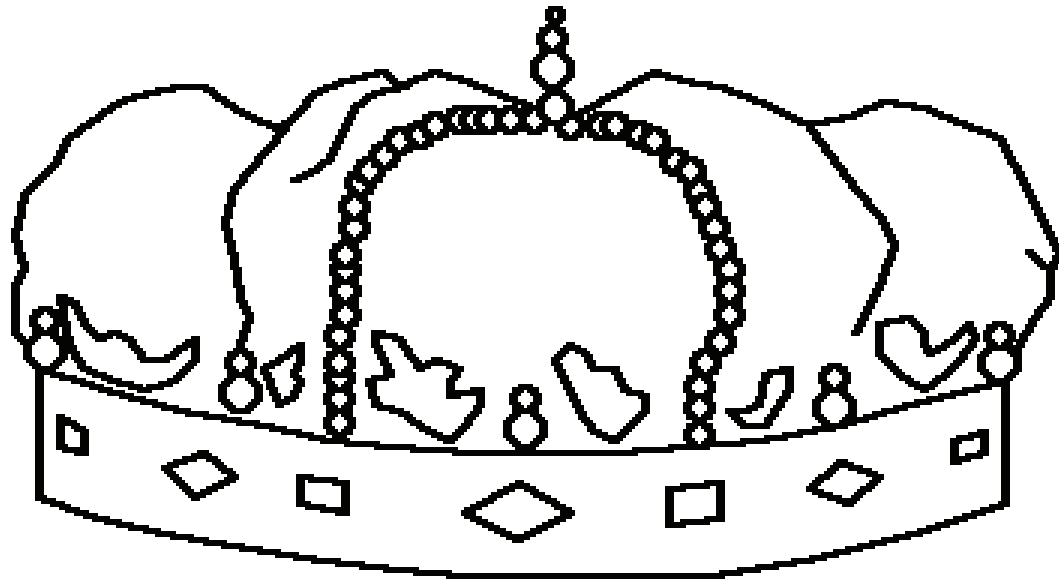
サムエルのむすこたちにお金を払わなければなりません
りませんでした。



このままじゃ ^{たいへん} ですね。何とかしなければ・・・。そこで、ある日のこ
と、お年よりたちがあつまり、何やらそうだんしてサムエルにたのみました。



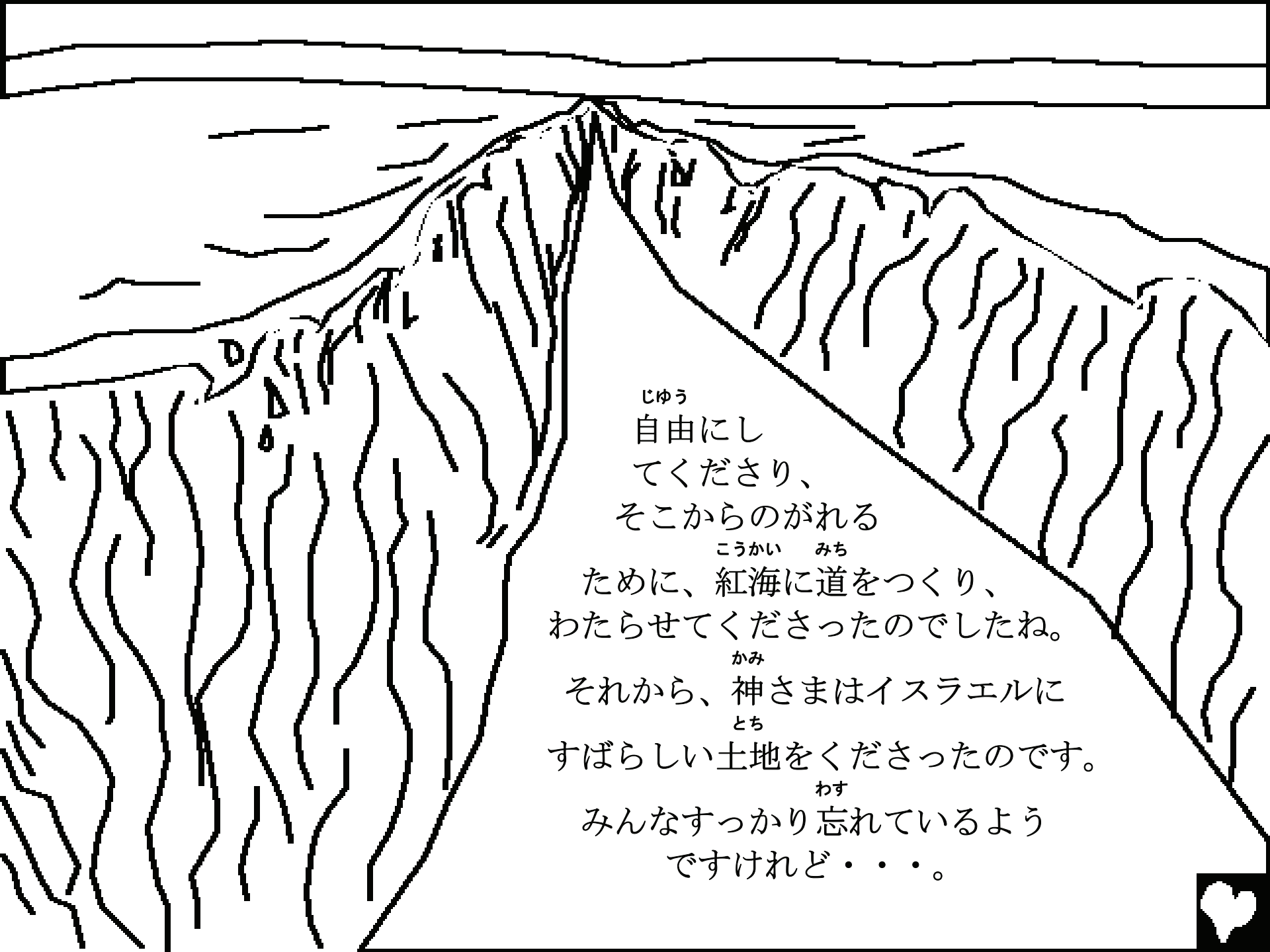
「ぜひ、わたしたちを正しく裁くあたらしい王さまを、与えてください。」
お年よりたちは、サムエルに何度もつよく言いました。かれらは、
サムエルの悪いむすこたちに、自分たちを裁いてもらうのは、
もうまっぴらでした。かれらは、
ちょうどイスラエルのまわりの国々と同じように王さまがほしかったのです。



き
これを聞いたサムエ
おこ
ルは、怒りましたよ。
「イスラエルには、

おう
もう王さま
がいらっしゃる
ではないか。」と言
い
ってね。神さまは、何でも
おできになって、いつまでもいら
っしゃる方です。そして、わたした
ちをずっと支配してくださっているの
しはい
です。その昔、神さまは、エジプトでどれ
むかし かみ
いとなり苦しんでいたイスラエルの人々を、
ひとびと





じゆう
自由にし
てくださり、
そこからのがれる

こうかい みち
ために、紅海に道をつくり、
わたらせてくださったのでしたね。

かみ
それから、神さまはイスラエルに
とち
すばらしい土地をくださったのです。

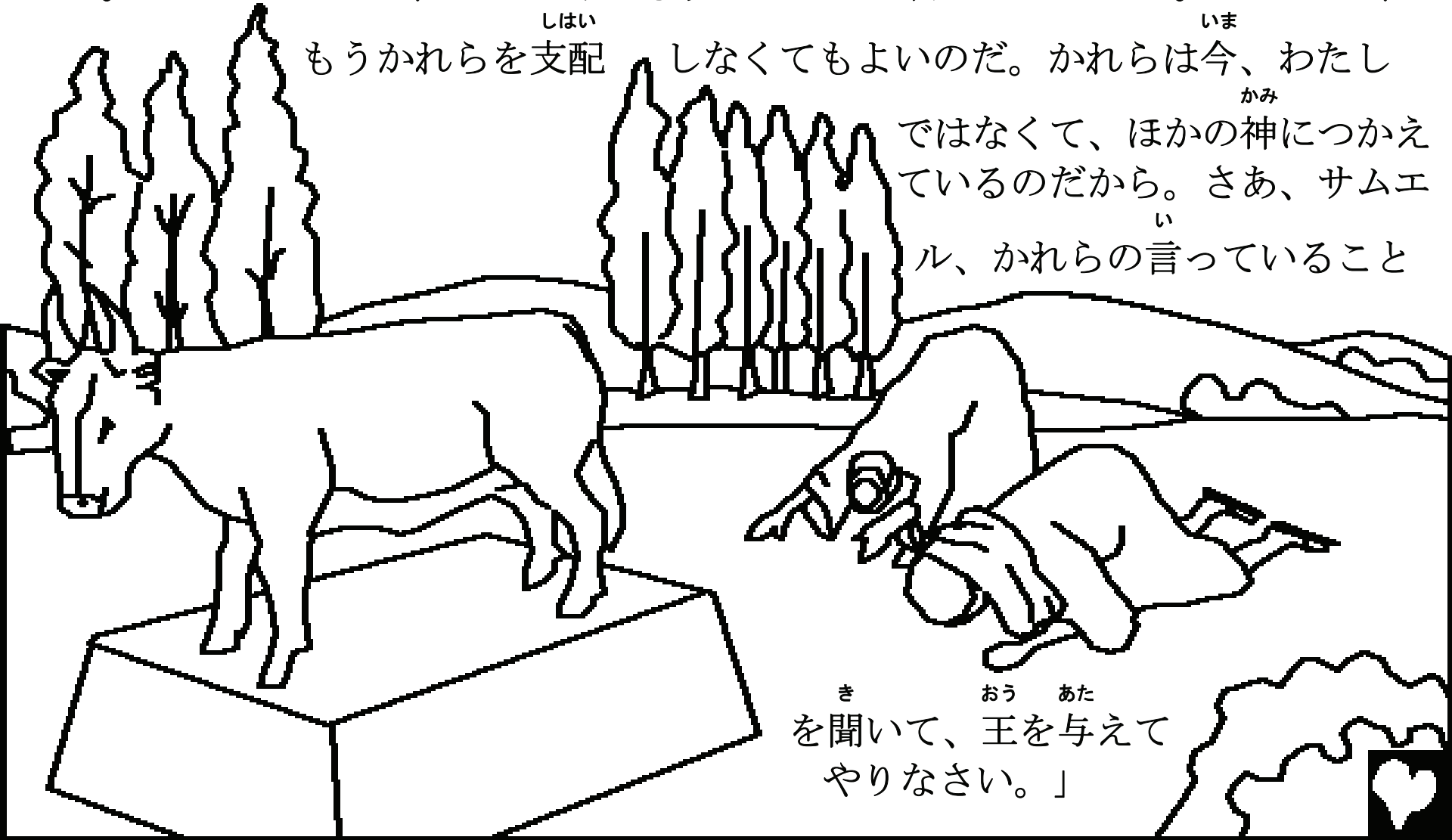
わす
みんなすっかり忘れていたよう
ですけれど・・・。



そこで、サムエルは祈いのりました。すると、神さまが答かみえてくださいました。「サムエル、イスラエルの人々は、あなたのことこたをいらいないと言いっているのではないのだよ。わたしのことを、つまり神はもういらいないと言いっているのだ。わたしは、もうかれらかみを支配しはいしなくてもよいのだ。かれらは今いま、わたし

ではなくて、ほかの神かみにつかえているのだから。さあ、サムエル、かれらいの言いっていること

き おう あた
を聞いて、王おうを与あたえて
やりなさい。」



それから神さまは、^{かみ}言われ^いました。「サムエル、わたしが今から言うことを、

^{いま}わたしが今から言うことを、^いイスラエルの人々に知らせなさい。」そこで、サムエルは、み

^{かみ}んなに神さまからのことばを^{つた}伝えましたよ。「イスラエ

^{ひとひと}ルの人々よ、よく聞きなさい。^き

この世での王は、あな^よ ^{おう}なたがたから、ぜい金を取り

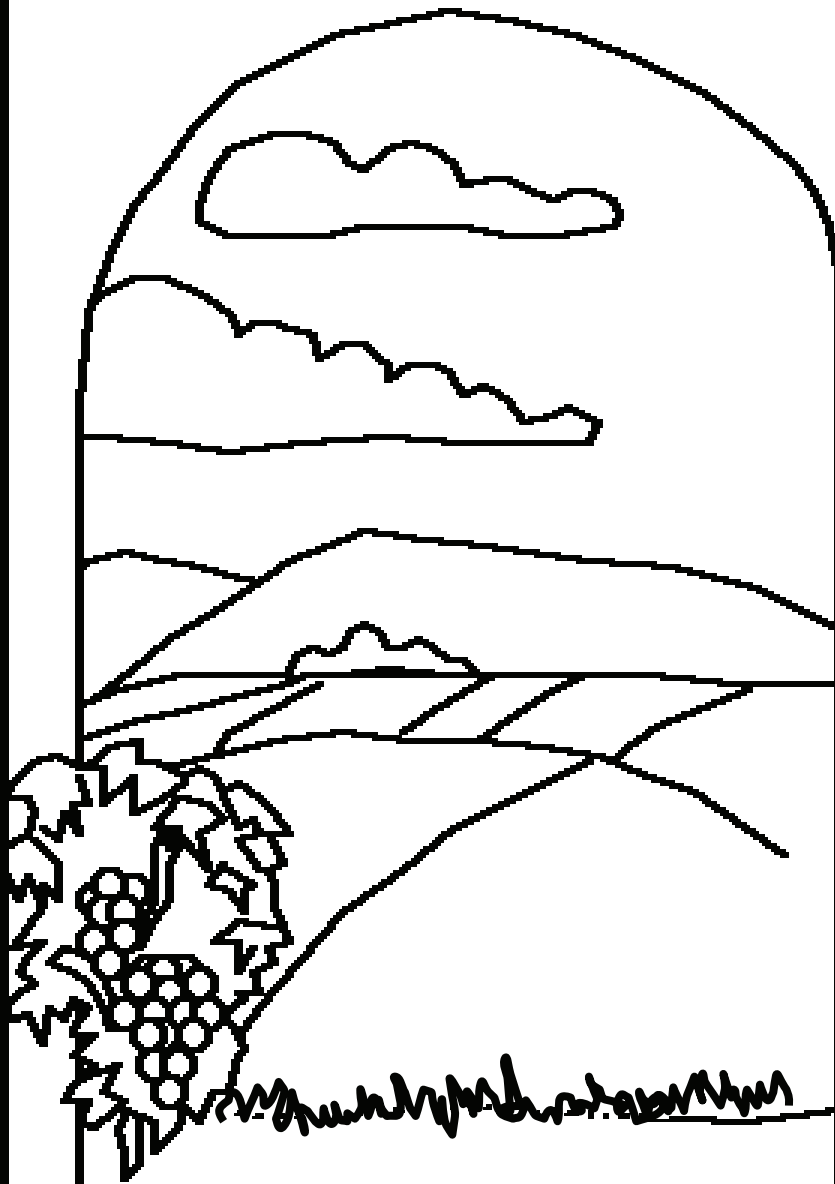
たてるだろう。また、いち

^よ ^ちばん良い地とブドウ畑^{ばたけ} ^とを取りあげてしまうだろう。む

すこたちは、軍^{ぐん} ^{はい}たいに入らなければならぬだろう。

そして、むすめたちは、王^{おう}の

^{つか}ために仕えなければならぬだろう。」



おう ぼたけ
王さまのぶどう畑

き ひとびと
それを聞いても人々は、
おう
やっぱり王さまがほしい
い
と言いはりました。



た い きんし
立ち入り禁止

Miyuki





あるとき、神さまはサムエルを1人のわかい男の人に会
わせられました。その人は、とてもハンサムで、とても
はずかしがりやで、それにとっても背が高い人で
した。他のだれよりも、あたま1つ分く
らいは、高いようですよ。その人の
名前は、サウル。サムエルが、
サウルに会ったとき、主は言わ
れました。「このサウルが、
わたしの民イスラエルを
支配するだろう。」

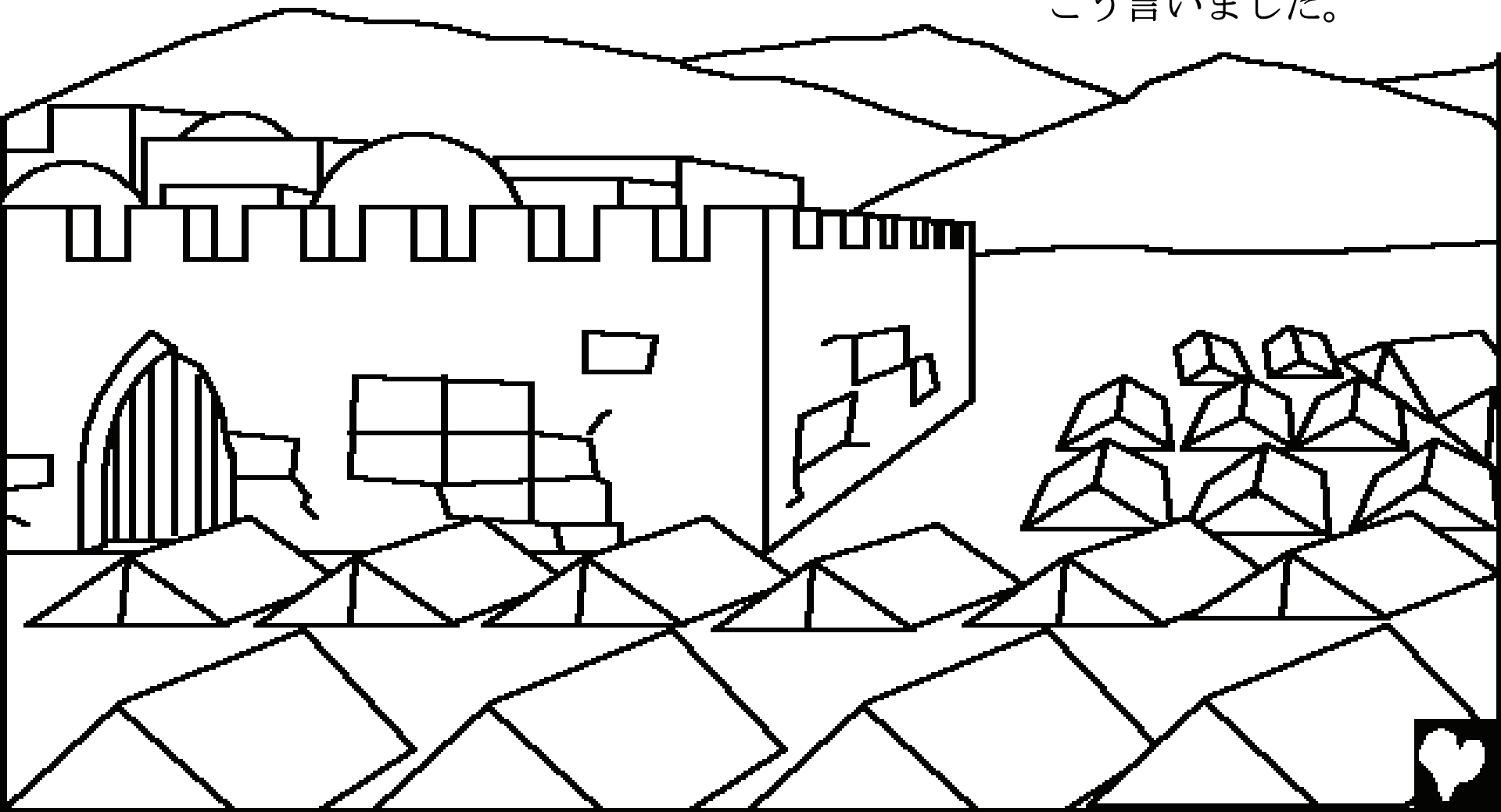




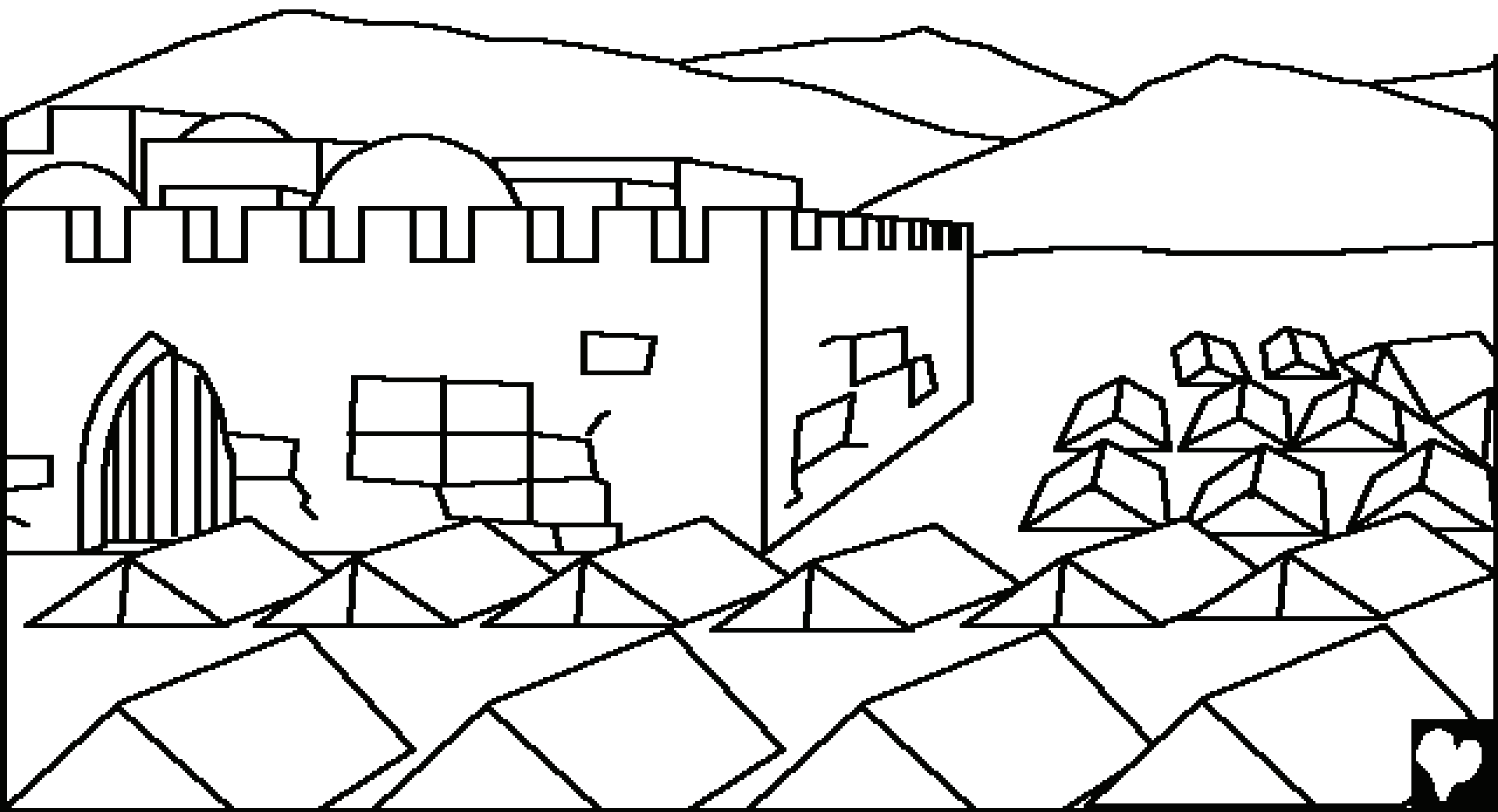
サムエルは、主のことばにすなおに
したが^{おう}い、サウルをイスラエルの王
として、かれのあたまに^{あぶら}油^{そそ}を注ぎ
ました。そして、サムエルはイスラ
エルの人たちの前^{ひと}にサウルをつれて
きますと、みんなはよろこびさけび
ました。「ばんざい！わたしたちの
^{おう}王さまだ！」



それからすぐのことです。サウル王は、さっそくつよい王さまかどうか、
ためされる^{とき}時がやってきましたよ。イスラエルをにくんでいたアマネク^{じん}人が、
イスラエルのある町^{まち}を、取りかこみ、そこに住んでいる人々^{ひと}をおどかして、
こう^い言いました。



す おとこ みぎ め
「おい！ここに住んでいる男たちみんなの右の目を、くりぬいてやるぞ。」
はなし おう った
なんてひどいことでしょう！ そのおそろしい話は、すぐサウル王のところに伝
おう ぐん ようい
わりました。サウル王はすぐに軍たいをつくり、たたかう用意をしましよ。





こうして2つの軍、アンモンとイスラエルがたたかいました。さあ、どちらが勝ったでしょうか。そう、イスラエルの軍です。サウル王は、アンモン人たちをうち負かし、イスラエルのその町を救うことができましたのです。それはね、サウル王が、神さまからのつよい霊の力をいただいたからなのです。サウルは、みんなに言いました。「今日、主がわたしといっしょにいて、イスラエルを救ってくださったのだ！」



ひ かみ しょうり
そうです。その日、神さまは、サウルにすばらしい勝利をくださいました。

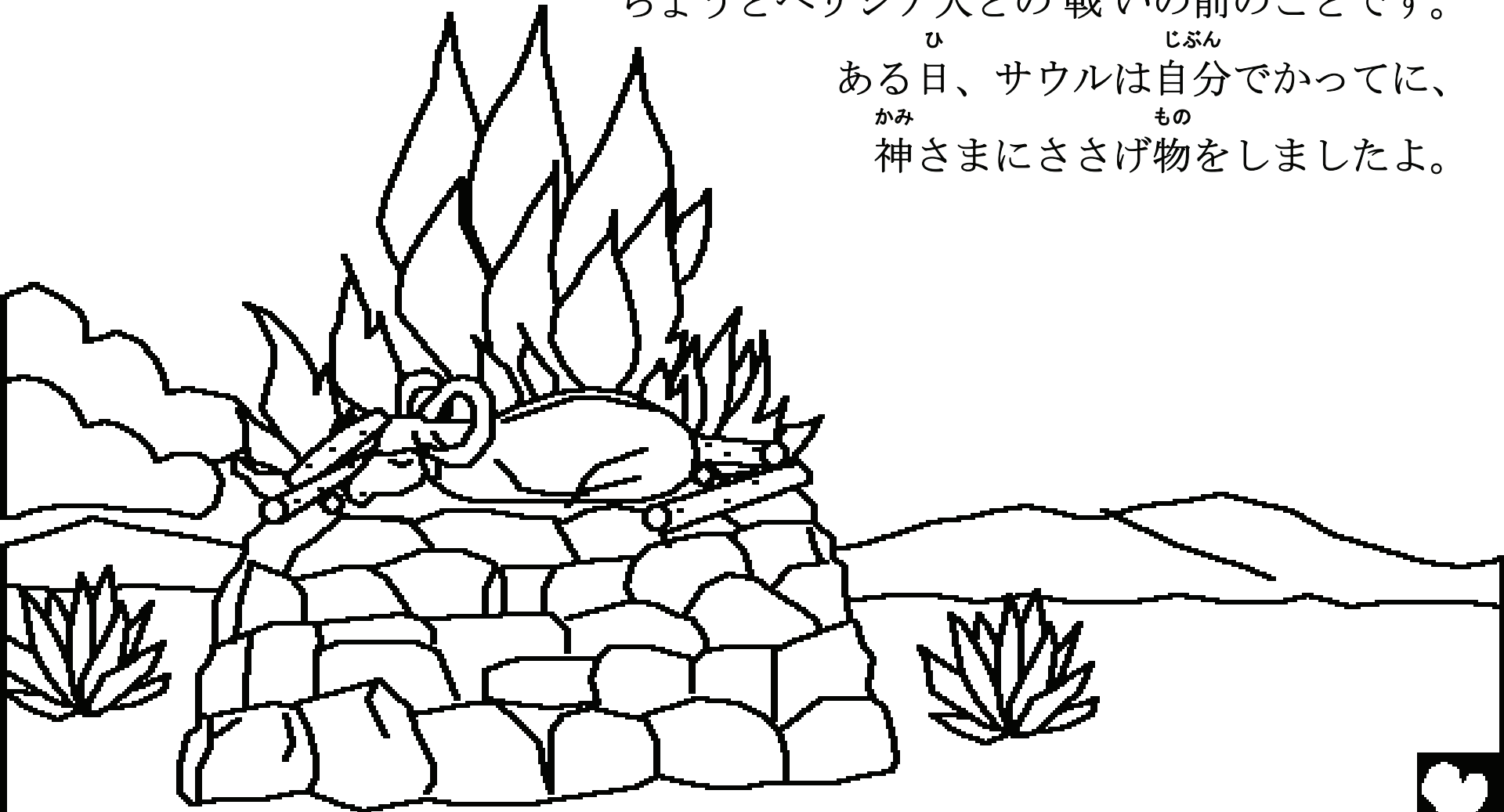
けれども、サウルは、いつも神さまの言われることをだいいとし、

したがっていたわけではないのです。

じん たたか まえ
ちょうどペリシテ人との戦いの前のことです。

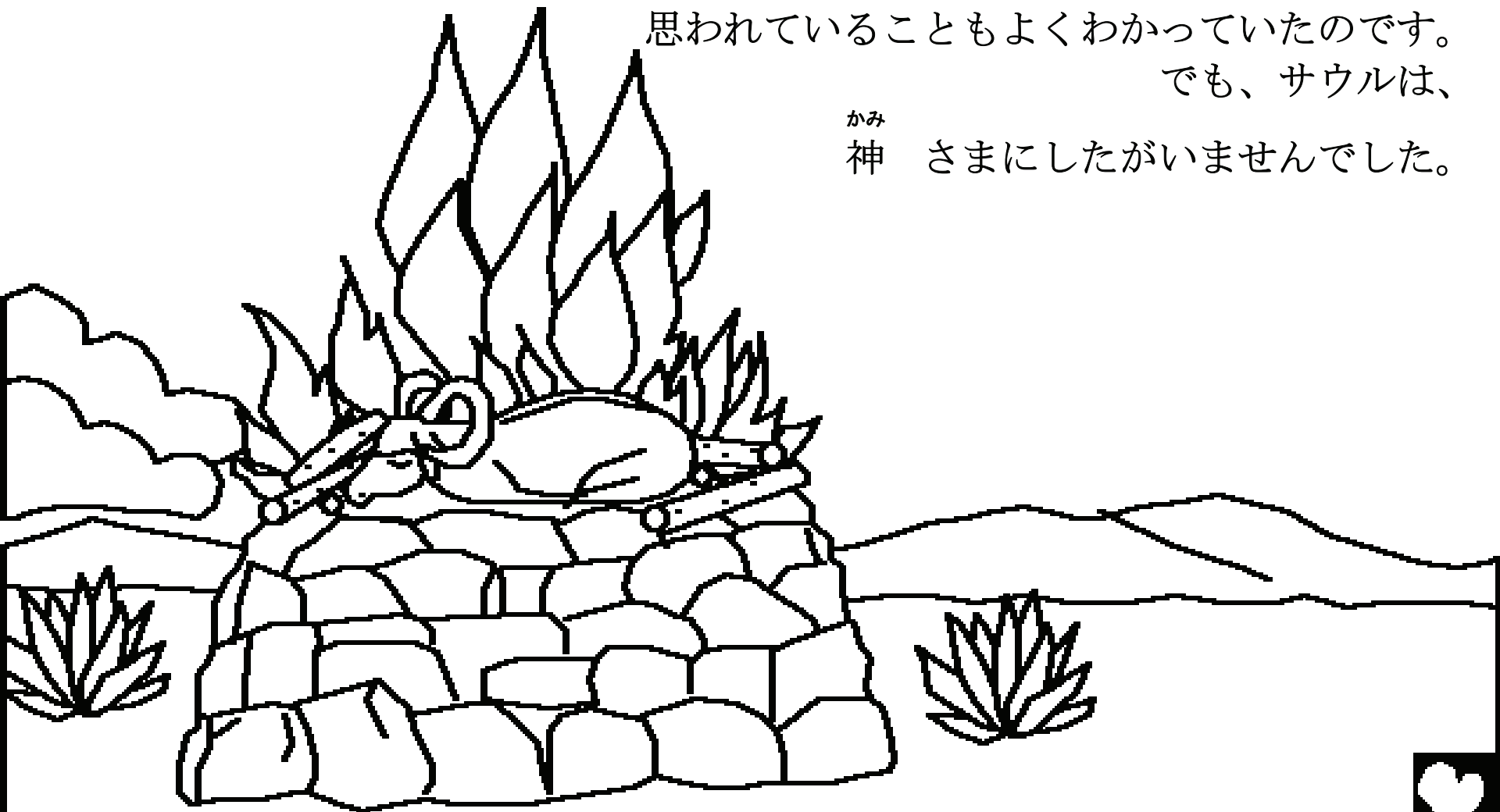
ひ じぶん
ある日、サウルは自分でかってに、

かみ もの
神さまにささげ物をしましたよ。



じつはね、^{かみ}神さまへささげものをするのは、サウルではなくサムエルがするしごとでした。そしてサウルは、そのことを、よく知っていたのです。また、^{かみ}神さまがもうすぐサムエルが来るのでそれまで待つようにと、^{おも}思われていることもよくわかっていました。

でも、サウルは、^{かみ}神さまにしがいませんでした。



さて、そこにサムエルがやってきました。かれは、サウルのしたことを
し
い
知って言いました。「サウル、あなたはなんておろかなのだ。なんて

バカなことをしてしまったんだろう。なぜ、あなたの神、主とのやく
かみ しゆ

まも
そくを守ることができないのだ。もうこれからは、

おうこく
あなたの王国は

なが
長くつづ

かない

であろ

う。」



じぶん
サウルは自分がしたことは、ほんの小さな罪だと思っちいたかもしれつみませんね。おも
でもね、決けっしてそうではないのですよ。神にしたがわかみないことは、
どおおんなときでも、大おおきな大つみきな罪なのです。



それからしばらくして、神さまはサウルにめいれいしました。「アマレクの人々

かみ

ひとひと

ひとり

すべて1人のこらずやっつけて
てしまいなさい。」ところが、このときもサウルと

ひとひと

イスラエルの人々は、

かみ

神さまのめいれい
にしたがわず、
アマレクのアガ
おうころ
グ王を殺さない
いで生かしておい
たのです。



かれらは、また ^{やく た}ウシやヒツジなど役に立

ちそう^よで良さそうなものだけをのこして、
^{じぶん}自分たちのものにしておきましたよ。

これらのものは、主^{しゅ}にささげるのだから
と^い取っておくのだと言ってね。



サムエルは、サウルに言いました。「サウル、神さまにしたがうということは、
ささげることよりも、もっともって大切なことなのだ。

あなたは、主のことばを聞かなかった。だから主も

また、あなたのことばを聞かれない。あなたは、

もうイスラエルの国王でなくなるのだ。」その

とき、サウルは自分がほんとうにまちがったこ

とをしていたことに、気がつきました。でも、
もうおそすぎたのです。それからのサウル

の人生は、どうなったでしょう。ちっ
ともしあわせではなかったのす。

どうしてって、サウルは主にし
たがおうとしなかったからで
すね。



ハンサムな、でも おろかな王さま

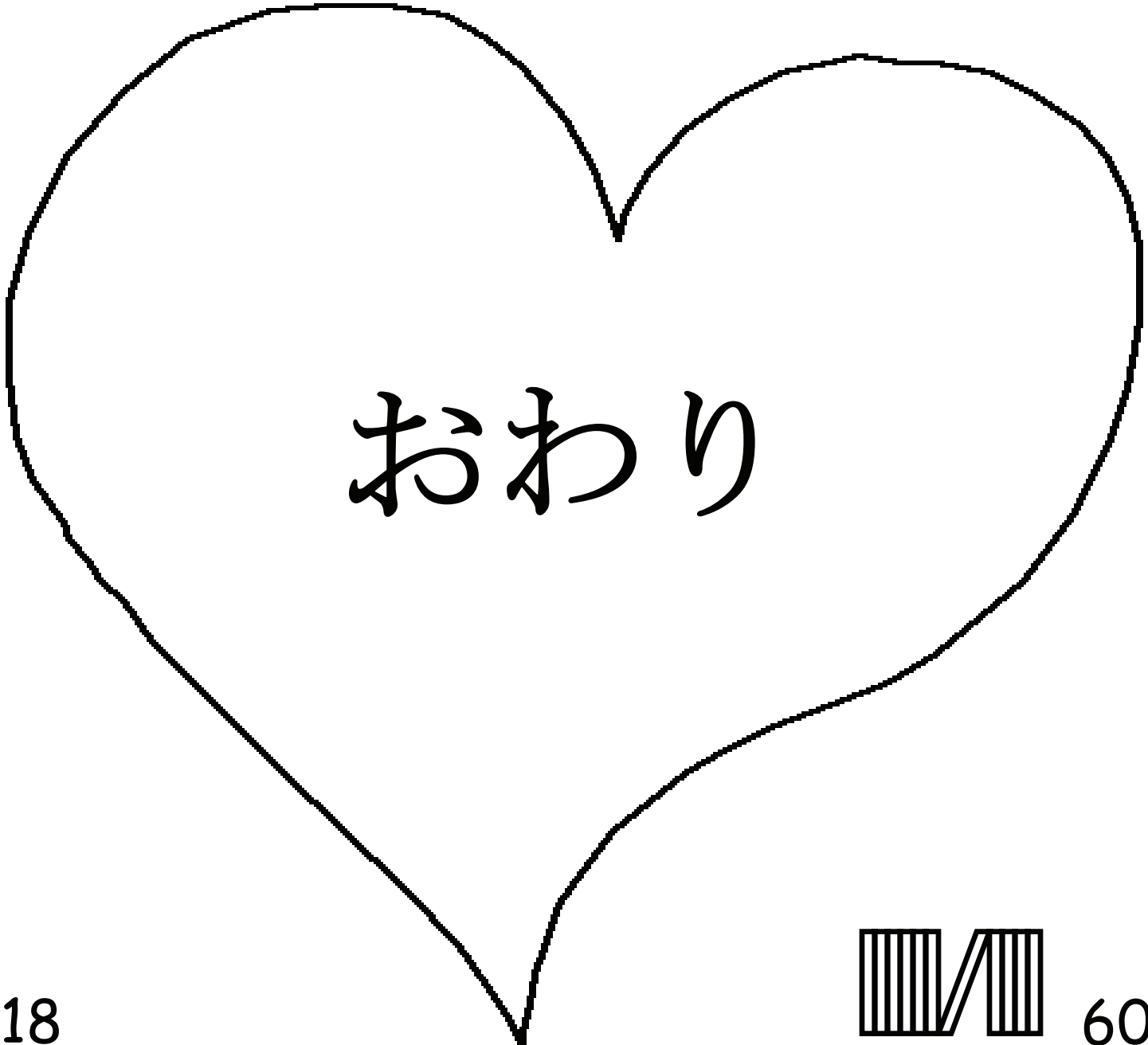
かみ み せいしょ しる
神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

きじょう しょう しょう
サムエル記上 8 章 - 16 章

み ひら ひかり あた
あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

しへん
詩篇 119:130





おわり



せいしょものがたり わたし かみ
この聖書物語は、私たちをつくってくださったすばらしい神さまについて、
おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことをしてほしいと、
おも
思っていらっしゃるのです。

かみ わたし かみ
神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、しっていらっしゃいます。それを、神さま
は、罪つみとよばれています。その罪つみのむくしいは、死しです。

かみ あい ひとり こ
けれども、神さまは、あなたをとも愛あいしていらっしゃいますので、ただ一人のみ子イエスさまを、こ
よ おく つみ じゅうじかじょう な
の世よに送おくってくださいました。そしてあなたつみの罪つみのためなに、十字架じゅうじかじょう上なで亡なくなられたのです。けれども
それから、イエスさまはよみてんごくがえられ、天国てんごくのいえへ、もどられたのですね。もし、あなたがイエスさ
ましんを信しんじ、ゆるしんしてくださいとおねいがいするなら、イエスさまは、ゆるしんしてくださいます！イエスさま
いま ところ き なか す
は、今いま、あなたところの所きへ来なて、あなたなかのこすころの中なかに住すんでくださいます。そして、いつまでもイエスさ
まといっしょにい生いきるいことができますよ。

もし、あなたが、これがほんとうだしんと信かみじるなら、神いさまにこう言いってください。
あい かみ わたし かみ しん ひと わたし つみ な
愛あいする神かみさま、私わたしは、あなたかみが神しんさまと信しんじます。あなたひとは人わたしとなり、私つみたちの罪なのためなに亡なくなっ
てくださいました。そして、よみいがえいって、いま生いきて
いらっしゃいます。どうか、私わたしのこなかころの中きにつみ来つみて、罪つみをゆるわたししてくだいまいまさいます。それで、私わたしは今いま、あたら
らしい命いのちをいただいけます。そして、いつか、あなたところの所いへ行いき、いつまでもあなたこといっしょにいいる
ことができますのです。あなたいにしたがえいますよう、あなたこの子いとして生いきるいことができますよう、たす
けてください。アーメン

せいしょ かみ ふくいんしょ
まいにち、聖書をよみ、神さまとおはなししましょう！ ヨハネによる福音書3：16

